

野田の郷便り

(令和6年7月号)

7月の行事計画

★ビューティーヘルパー：11・12日

★誕生会：21日

★茶話会：28日

★集団レク：7日(風船バレー)

14日(魚釣りゲーム)

21日(輪投げ大会)

28日(ペットボトル倒しゲーム)

★体重測定：7日(たんぽぽ)

14日(ひまわり)

21日(なのはな)

衣替えのお願い

梅雨が終わり、本格的な夏が始まる月ですね♪暑さも厳しくなって参りますので、夏物の衣類をご持参頂ければ職員にて対応させていただきます。(冷暖房完備の為、薄手の長袖が好ましいです。)

平生治



職員紹介

6月1日より特別養護老人ホームへ異動となりました。以前は、「デイサービスセンター野田の郷」で生活相談員として勤めていました。初めての部署

七夕の由来

七夕と言えば、天の川を隔てて会うことができなくなった織姫と彦星が、1年に1度だけ会うことができるというロマンチックな星物語が有名な日です。毎年7月7日の夜に、願い事を書いた色とりどりの短冊や七夕飾りを笹の葉につるし、星に祈る習慣が各地で広く親しまれています。子どもの頃に色紙で飾りを作ったり、短冊に願い事を書いて笹に飾ったりした方も多いのではないのでしょうか。

五節句の1つに数えられる七夕は、日本古来の年中行事である「棚機(たなばた)」と、中国から伝わった「乞巧奠(きこうでん)」が由来していると考えられています。

棚機行事では、まず村の乙女が水辺の小屋にこもり、着物を織って棚に供えます。神様を迎えて豊作を祈り、村の人々の穢れを清めるのです。着物を織る際に使用されたものが、棚機という機織り機でした。やがて日本に仏教が伝えられ、棚機はお盆を迎える準備のための行事として旧暦7月に行われるようになりました。

現在では、七夕は季節の変わり目を祝う年中行事として広く知られています。しかし最近では、伝統的な方法で四季の移ろいを愛でることは少なくなってきました。夏の訪れを感じる七夕の夜に七夕飾りと短冊で彩を添え、夜空を見上げながら星に祈りを捧げてみてはいかがでしょうか。

日常の様子



風船バレーの様子



職員と一緒に♪

